



## 小野市の国際交流 ～アメリカ合衆国カリフォルニア州リンゼイ市との 姉妹都市交流～

兵庫県小野市市長公室市民サービス課

### はじめに～小野市の紹介

小野市は、兵庫県播磨地方南東部に位置し、市の北側には中国自動車道、南側には山陽自動車道という2つの高速道路が走り、大阪、神戸まで自動車ですら約1時間の立地条件にあります。市の人口は約5万人、かつては「そろばんと家庭用金物のまち」として栄えましたが、現在は、市が立地の良さを活かして整備した工業団地で操業する医療、精密機器、食品加工などの先端企業が、市の財政を支えています。

### 姉妹都市リンゼイ市との交流

小野市の国際交流は、1973年のアメリカ合衆国カリフォルニア州リンゼイ市との姉妹都市提携に始まりました。リンゼイ市は、カリフォルニア州のほぼ中央に位置する人口約1万人の市で、温暖な気候のもとオリーブやオレンジなど柑橘類の栽培が盛んに行われています。

両市の交流事業は、市制施行20年目にあたる1974年4月、リンゼイ市より5名の高校生が第1回交換学生として来市されたことに始まります。その10日後には、リンゼイ高校の音楽使節団総勢100名が来市され、長さ800mの小野商店街において、チアリーダーを先頭にマーチングバンドを披露していただきました。小野市からはその返礼として、同年7月、小野商工会議所会頭を団長に、中学生から社会人までの約80名がリンゼイ市を訪問しました。以降、親善訪問使節団として、これまでに小野市からは21回計約410名、リンゼイ市からは23回計約340名の方が両市を往来されました。

小野市の使節団は、リンゼイ市において、市役所・小中高等学校の訪問、オレンジ工場・オリーブ畑などの見学、リンゼイ市の北方約150kmに位置し、ユネスコの世界遺産（自然遺産）に登録されている「ヨセミテ国立

公園」の見学などを行っています。また、リンゼイ市使節団は、小野市において、市役所訪問、奈良東大寺を再建した重源上人が建立した「国宝浄土寺」や「ひまわりちようげんの丘公園」などの施設見学、歴史博物館「小野市立こうこ古館」における十二単や鎧兜の着付けと茶道体験、中学校・高等学校訪問などを行っています。そのほか、相互にホームステイを行うなど、互いに異文化理解を進めてきました。



リンゼイ高校音楽使節団によるマーチングバンドの様子

また、使節団とは別に1985年から2005年までの20年間にわたり、両市の小中学校教師相互派遣を実施し、小野市からは10回計20名を派遣、リンゼイ市からは12回計22名が来市されました。両国の教育の違いなどをお互いに身をもって体験し、その後の教育活動に活かされています。

### 小野市とリンゼイ市を結ぶ架け橋

両市の活発な交流が40年もの長きにわたり続けてこられたのは、リンゼイ市姉妹都市親善特命大使（ambassador extraordinaire of the Lindsay Sister City Program）であるかき加来ゆり子氏の存在を抜きには語れません。リンゼイ市内で店舗を営んでいた日系人、故



Chorge Kaku 氏に日本から嫁いだゆり子氏は、姉妹都市提携当初から交流事業に深く関わられ、小野市民とリンゼイ市民との言葉の壁をなくし、交流事業の発展をライフワークとして心血を注いでこられました。

姉妹都市提携 30 周年を迎えた 2003 年には、それまでの多大な活躍・功績が評価され、リンゼイ市姉妹都市委員会からリンゼイ市姉妹都市親善特命大使の称号が贈られました。



姉妹都市親善特命大使加来ゆり子氏（写真左）を交えて交流を深める学生ら

## 姉妹都市提携 40 周年記念事業

2013 年には姉妹都市提携 40 周年を迎え、40 周年記念事業を実施しました。

まず、小野市からは 4 月 17 日から 22 日までの 6 日間、市長、市議会議長、市国際交流協会理事長および理事らが訪問団としてリンゼイ市を訪れました。

訪問団は、リンゼイ市内にある通りの一部を「小野通り (Ono City Parkway)」と命名する式典と、同市最大のイベントであるオレンジ祭パレードに参加し、小野市長自らが英語と日本語を交えてプレゼンテーションを行ったほか、両市間の姉妹都市交流が新たなステージを迎えることを目指して、活発な意見交換を行いました。また、小野市より「小野通り」に隣接する公園への「ひまわり花壇」やベンチの寄贈とともに、両市を結ぶ架け橋として尽力された加来ゆり子リンゼイ市姉妹都市親善特命大使に感謝状を贈呈しました。

一方、リンゼイ市からはその返礼として、市長、副市長、姉妹都市親善委員会委員長ら総勢 10 名の公式訪問団が、

小野市最大のイベントである「小野まつり」に合わせて同年 8 月 15 日から 21 日までの 7 日間来市されました。

そして、まつり会場で多くの市民が見守る中、両市代表 6 名による「日本国兵庫県小野市とアメリカ合衆国カリフォルニア州リンゼイ市との姉妹都市提携 40 周年記念協定書」への署名が行われ、両市の友好関係をさらに発展させ、友好の絆をより一層深めることに合意しました。



小野まつり会場で協定書にサインし、笑顔で披露する両市長

## 新たな国際交流活動へ向けて

小野市とリンゼイ市の姉妹都市交流は、姉妹都市提携時に発足した「リンゼイ友の会」を母体とし、2003 年に設立された小野市国際交流協会が中心となって進められてきました。提携当初は市民が海外へ渡航することは少なく、外国人と接する機会も希少だったため、海外との交流は行政主導で行われてきましたが、経済活動を中心に国際化の波が一般市民にまで浸透した今日、国際交流は民間主導で実施されるべきではないでしょうか。

そうした中、小野市国際交流協会は活動をより安定して継続させるため、2011 年に NPO 法人格を取得し、「NPO 法人小野市国際交流協会」として再スタートしました。現在、同協会は市から委託を受けた「姉妹都市交流事業」のほか、近年、増加している市内定住外国人との交流を深める「多文化共生事業」なども実施しています。こうした活動を通じ、40 年にわたるリンゼイ市との姉妹都市交流事業の実績をベースとした小野市の国際交流がさらに活性化し、人種、国籍、言語、宗教などの異なる者同士が相互理解を深め、小野市の新たな未来を築く一助となることを期待しています。